

# 大阪教育文化センターだより

大阪教育文化センター

2022.2.22

No. 162



## 今月の内容

第 32 回共同研究集会「GIGA スクール構想に立ち向かう 教育課程づくり・学校づくり」(3月 26 日)  
 学校統廃合・小中一貫教育大阪交流集会 (3月 27 日) 「続学びなおしの部落問題」刊行  
 震災から 11 年 子どもの作文「つなみは黒くてくさかった」  
 これからの研究会 子どもの詩「おはよう」(小学校 6 年)

## GIGA スクール構想に立ち向かう

### 教育課程づくり

### ・学校づくり

3.26 (土) 13:30~16:30

大阪教育文化センター

第 32 回共同研究集会

3月 26 日(土)に第 32 回大阪教文センター共同研究集会が開かれます。現場教職員、研究者、研究会メンバーが集って教育実践の成果や研究内容を語る集会です。

今回の共同研究集会は「GIGA スクール構想に立ち向かう 教育課程づくり・学校づくり」をテーマに、コロナ感染者数が増える中で中止となった第 3 回教育講座の内容も含め、研究討議をすすめます。

まず① GIGA スクール構想のねらいと本質 ② 「令和の日本型学校」中教審答申を、田中康寛さん(大阪教文センター事務局次長)、③ GIGA スクール構想のもとでの教育課程づくりの重要な意義を、植田健男さん(花園大学教授・名古屋大学名誉教授)から問題提起していただきます。そして、④学校現場で 1 人 1 台端末使用が押しつけられている中で、どのような工夫をして授業や活

動をおこなっているのかを学校現場から 2 人の青年教員が報告します。

研究討議の中で、さらに「GIGA スクール構想」や新学習指導要領などの問題点を浮き彫りにしながら、教育課程づくり・学校づくりをさぐっていきます。

### 急激なデジタル化がすすむ中で

いま、政府は行政や教育などの急激なデジタル化を進めようとしています。

1 月 7 日に「デジタル庁、個人の生涯学習データを一元管理」(産経)が報道されましたが、デジタル庁は「国は、個人の教育データを一元的に管理するこ



とは全く考えていない」と弁明を続けています。

ところがデジタル庁は、1月21日に「こどもに関する情報・データ連携 副大臣プロジェクトチーム（第2回）」を開き、先行自治体事例として大阪市の「児童生徒ボード」（プロファイリングデータ）、箕面市の「子供見守り支援システム」などを紹介し、子どもやその家庭のデジタルデータをどう利活用するかを検討しています。

### 教育課程・学校づくりの多くのヒントが

こうした動きに対して、「GIGA スクール構想」とどう立ち向かい、それぞれの学校で教育課程をどのように編成し「学校づくり」をすすめるのか、大きなヒントとなる集会です。コロナ禍での感染対策、新学習指導要領や「GIGA スクール構想」への対応が続く中で、カリキュラム（時間割）編成をこえた「教育課程づくり」を通しての「学校づくり」を考えてみませんか。多くの方の参加をお待ちしています。

【日 時】3月26日(土) 13時半～16時半

【ところ】大阪府教育会館 BF 1 オリーブ

【参加費】500円（サポーターは無料）

当日、2022年度サポーターも受け付けています。

## HP 訪問者が 10 万人超え！

大阪教文センターのHPが1月16日で、総訪問者数10万人を超えました。2020年4月に出した提言「いまだかつてない事態にはいまだかつてないとりくみを」以降で訪問者は5万3000人を超え、この2年弱で5万人を超えました。

研究会や教育講座の案内ばかりではなく、学習指導要領や「すすくウオッチ」・チャレンジテストなども扱っています。ぜひ覗いてみてください。



### 学校統廃合・小中一貫教育 大阪交流集会

と き 3月27日(日) 13時半

ところ たかつガーデン3Fカトレア

●基調報告・問題提起

大阪府下各市町村の小中一貫教育実施状況

●報告（岸和田市・交野市・高槻市予定）

●討論・交流

## 「**続**学びなおしの部落問題」刊行

—「部落問題学習」のおしつけで新しい差別を生むことのないように—

大阪教育文化センター「部落問題解決と教育」研究会編



全国水平社創立100周年にあわせ、大阪教文センター「部落問題解決と教育」研究会から、「学びなおしの部落問題」の続編として「続学びなおしの部落問題」が刊行されます。

内容は、▶(1)教育により新しい差別を生むことのないように ▶(2)中学校社会科「歴史」「公民」教科書（2021年度より使用）の検討 ▶(3)高校「歴史総合」教科書（2022年度より使用）の検討 ▶コラム「部落問題の解決」とは何か ▶(4)高校「公共」教科書（2022年度より使用）の検討 ▶(5)資料編の構成になっています（92頁）。

前出刊行後、法務省「依命通知」「部落差別の

実態に係る調査結果報告書」等が出され、新学習指導要領に基づく中高の教科書検定・採択がありました。

このような動きを盛り込み、「水平社にこめられた願いを受け止め、教育によって新たな差別を生むことのないよう、より多くの学校関係者の中に理解と共感が広がることを願って」の刊行です。

【頒価 500円】（送料別 6冊まで 140円）

申込みは大阪教文センターまで。

●全国水平社創立100周年記念講演会

4月10日(日) 13時半～ たかつガーデン（2F）

上記の日程に変更となりました。

震災から  
11年

東日本大震災・被災地の子ども作文

## つなみは黒くてくさかった

仙台市若林区 小2（当時） 中村 まい

帰るとちゅうに強いじしんがきました。つなみがきたからびっくりしました。でもつなみが大きかったので、びっくりしました。（中略）そのときは、だれもいませんでした。がんばって学校の2かいで1とりでいたので さびしかったです。友だち2たりがいたので、だいじょうぶでした。

つなみのせいで大切なものもながされました。でも こんど家にあつたものをさがしにいきました。まどから見たら50メートルいじょうありました。でもがんばって学校で一日すごしました。ひなんしている人の話し声でねおれませんでした。よしんがこわくてねおれませんでした。よる ねるときさむかったです。

つなみはゴミがいっぱいでした。学校のひなさんがあわつたときに中学校にいました。そこでも一日すごしました。じぎのあやむいじょうかん、いきました。ぶどうかんは なんにちもすごしました。よるはなぜかねおれました。ひなんし

てきたときは、ごごにきても ねおれないんじゃないかと思いました。早くいえに かえりたかったです。朝きたときは、ねむたかったけどがまんしました。

ひなんしているときは、ごはんがすごしかったので うれしかったです。

でも、つなみの色は黒っぽいつなみでした。くさかったです。

でも少しはねおれました。ふつうの家だとねおれたんだけど、ひなんばしよにきてねおれませんでした。ごはんをたべたら はらいっぱいになりました。

すごいはくりよくで つなみがきました。でもがんばりました。

わたしはいつもこう思いました。またいつか つなみがくるんじゃないかとおもいました。楽しい思いは少しするけど やっぱりこわい思いは まだつづきます。



る。武徳さんは自身の父、母、弟も失った。呆然とする日々の中、逆にまいちゃんに励まされることが多いと話した。

「時々何か失敗して落ち込んだりすると、『だいじょうぶよ、パパならできるよ』と勇気づけられる。僕に心配をかけないようにしているのか、僕なんかより まいの方がずっと強い。本当にまいに救われています」

（文藝春秋「つなみ」被災地のこども80人の作文集より）



●地震発生（2011年3月11日）直後、中村まいちゃんの父、武徳さんは母のひとみさんに何度も電話を入れた。奇跡的に一度だけつながり、津波の可能性を告げると「うん、逃げるから」とひとみさんは応じた。ひとみさんは生後4ヶ月の京介ちゃんを連れ、自身の弟や母と車で逃げようとしたようだ。

だが、間に合わなかった。ひとみさんは自宅から1.5キロほど離れた地点で発見された。自らの胸に京介ちゃんを抱っこしたままだった。

まいちゃんは「大切なもの」という言葉にそんな全てを込めたのだろうと武徳さんは察してい

参加も  
一発大歓迎!

# これからの研究会



● 2月23日(水) 13時

障害児教育研究会

ところ 大阪府教育会館 705号室

事例報告

● 3月13日(日) 14時

教育課程研究会

ところ 大阪教文センター

実践報告と考察「子どもについての力は何か」

● 2月23日(水) 14時

環境教育研究会

ZOOM (3月26日(土)【夕方】は705号室)

2021 ソラダス報告

● 3月21日(月) 10時

授業づくり研究会

ところ 大阪教文センター

「海のいのち」 授業報告と研究討議

## おはよう

六年 多治見璃瑠

朝のいつもの通学路

友達が見える

一歩進むごとに大きくなる背中

姿がはつきり見えてきた

あと一歩

「おはよう」

昨日の夜降った雨で

道ばたの草が星のように輝いている

今日もきこ

いい日になる



児童詩誌「サイロ」No.743より



あなたも  
教文センター  
サポーターに

## 講師紹介・派遣

子育て、教育、不登校・ひきこもりなどに関する学習会・研究会・交流会への講師の紹介や派遣をしています。

また、学校の研修会の講師の相談にも応じます。お気軽にご連絡ください。

口座番号 00950-9-14083

加入者名 大阪教育文化センター

教育現場と研究者をつなぐ

「大阪教育文化センターだより」

No. 162 (2022.2.22)

発行 大阪教育文化センター

発行責任者 熊崎 聡

HP: <https://osaka-kyoubun.org/>



〒543-0021

大阪市天王寺区東高津町7-11

大阪府教育会館706号東

☎ 06-6768-5773

FAX 06-6768-2527

E-mail: [kyoubun@minos.ocn.ne.jp](mailto:kyoubun@minos.ocn.ne.jp)

